



国土交通大臣賞

青森県のファシリティマネジメント
— 県有施設の移転集約や長寿命化の代表事例 —



○むつ市内庁舎移転集約（平成26～28年度 工事・移転等）
移転新築により遊休となったむつ警察署庁舎（昭和45年竣工）を転用・長寿命化改修し、老朽化した保健所、合同庁舎に入居の福祉事務所・児童相談所を移転集約等
余裕が生じた合同庁舎には、単独庁舎を移転集約し、跡地を売却



○県庁舎耐震・長寿命化改修工事（平成27～30年度 工事予定）
昭和35年竣工の県庁舎を、減築等による耐震補強と長寿命化改修により100年庁舎へ



○弘前工業高等学校管理教室棟改修工事（平成15～16年度 工事）
昭和44年竣工の校舎を生徒・教職員参加による改修基本計画に基づき長寿命化改修



○八戸高等支援学校新校舎整備工事（平成27～28年度 工事）
特別支援学校の教室不足解消のため閉校した普通高校校舎（昭和59年竣工）を転用・長寿命化改修し、高等部を分離移設



背景写真：県庁舎外壁の改修済の部分

官庁施設分野

次世代への価値ある施設の継承のために
県有施設の保有総量縮小・効率的利用・長寿命化の推進

取組概要

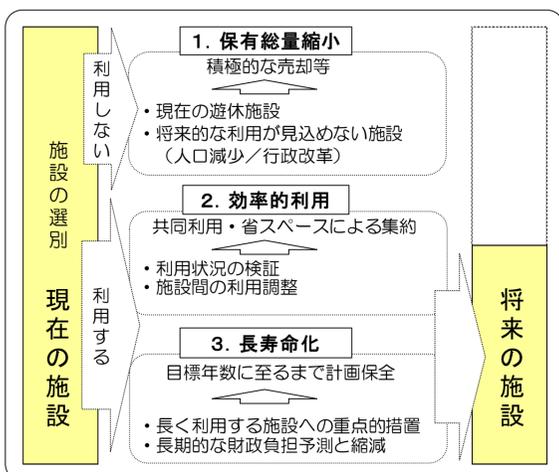
青森県県有施設利活用方針（平成19年3月策定）に基づき、県有施設の保有総量縮小、効率的利用及び長寿命化を、組織的かつ継続的に推進する取組。

受賞理由

施設の統廃合等による県有施設の縮小化・利用効率化・長寿命化を、極めて早い時期から全庁的な体制構築を行い、組織的・継続的に取り組んだ。さらに、こうした先進的取組の効果を定量的に示し他の自治体に研修や講習会を実施するなど、水平展開に向けた取組が高く評価された。

取組のポイント

県有施設利活用方針に基づく取組により、庁舎等の移転・集約や不要施設の売却、庁舎や学校施設の長寿命化等を推進。また、国や市町村との連携による利活用を推進するための研修会等を実施。



取組の方向性	主な方策	平成28年度末時点の状況
保有総量縮小の推進	・廃止・遊休・低利用施設の利活用と利用調整を全庁的に検討	○廃止庁舎等の売却183件、庁舎等の移転・集約10件等が完了
効率的利用の推進	・新設や建替が必要となった場合は、既存施設の転用を最初に検討	○保有面積のピークから約8.4%減少 約229万m ² (H18年度末) →約210万m ² (H28年度末)
長寿命化の推進	・長期使用が見込まれる施設の長寿命化	○改修後40年程度使用するための長寿命化改修工事の実施
	・市町村FM研修会の実施等	8施設(延床面積 31,029.82m ²)完了 1施設(延床面積 25,022.45m ²)工事中

受賞者について



受賞者

青森県
田中 良斉／大澤 道彦／富谷 正行／
駒井 裕民／佐藤 康治／江戸 将聖／
児玉 政光

コメント

この度は、国土交通大臣賞という大変名誉な賞を頂き光栄に思います。引き続き、ファシリティマネジメントの考え方にに基づき、膨大な量の県有施設を効率的に管理し、効果的に利活用することで、次世代へ価値ある施設を継承していきたいと考えています。

団体概要

青森県では、平成16年度に庁内ベンチャー制度によりファシリティマネジメントを事業化して以降、平成19年3月には「青森県県有施設利活用方針」を策定するなど、総務部長が事務を統括する全庁的な公共施設等のマネジメントを実施しています。

問い合わせ先

青森県 総務部 行政経営管理課
ファシリティマネジメント推進グループ
グループマネージャー 駒井 裕民
017-734-9125
nobuhito_komai@pref.aomori.lg.jp